

<基本情報>

開館	2013年（開館8年）
建物総面積	5517.38 m ²
展示室面積 合計	1400 m ²
収蔵庫面積	403 m²
	* 絵画 100号 600点の収蔵規模を想定
	* 展示室に対する収蔵庫面積比率 28.8%

<収蔵作品>

収蔵作品総点数	約 836 点	（開館前からの所蔵作品数 509 点）
開館後 8 年間の増加数	購入作品	118 点
	寄贈作品	220 点
	新規収蔵作品合計	327 点
開館後 1 年あたりの平均新規収蔵作品点数		40.8 点
年間作品購入費		1000 万円（2021 年度は 0）
これまでの購入作品の価格		16 万円~350 万円

<現状>

- ・ 平面作品の収蔵スペースについてはまだ余裕がある（約 8 割使用）
絵画 100 号 600 点の想定
→ 現状 668 点（100 号以上 128 点 / 100 号未満 540 点）
- ・ 当初、十分な想定がなかった作品種類
立体・彫刻（36 点） 収蔵スペースに不足あり
メディア（立体・音など）（18 点） USB などで格納の為スペースをとらない
- ・ 収蔵作品の増加は一般的なレベル。

<課題>

- ・ **寄託作品の受け入れ、寄贈による作品収蔵の審査についてより厳しく検討する**
寄託、寄贈を受ける必要性、調査・研究活動における必要性を確認、審査
同一作家からの作品は数を絞り込む
- ・ **主に大型の彫刻、立体作品用の外部保管庫利用の検討を始める**
温湿度管理、耐荷重、搬出入経路、2 階以上、有人警備等を満たす施設が望まれる